

# 成功率98%の新テクノロジー

歯周病が心筋梗塞や認知症に

「虫歯再発」「神経の痛み」よ、さらば！  
そして心筋梗塞、糖尿病が「歯周病」原因の成人病も予防する

現場

# 顕微鏡治療で何が変わった？



「虫歯になつても死にはしない」  
そんな常識が今、覆りつつある。  
近年、歯周病と内臓や脳の疾患の関係が次々と証明され、「歯周病は死を招く」ともいわれているのだ。だからこそ、日頃の歯のケアや治療の質が問われる。そんな中、日本の医療界に革命を起すといわれる「顕微鏡歯科治療」が登場した。この画期的な技術の全貌と、それを取り巻く歯科界の現状を、氣鋭の医療ジャーナリストがお伝えする。

## 短期集中連載・第1回

界で、肉眼での治療には限界があり、実はよく見えていない中で治療をしている歯科医がほとんどだという。しかし現在、この課題を克服し、「見える」治療を実現するための画期的なテクノロジーが登場している。それが「顕微鏡歯科治療」だ。歯を最大20倍まで拡大して見ながら治療し、さらに患者が映像でその治療内容を見ることも可能にする。

神奈川県大和市で歯科医院を経営する寺内吉継医師（インテリデントCT & 米国式根管治療センター）の告白は、衝撃的だった。

「口の中は真っ暗で、実は歯医者にもよく見えないんです。治していいのか治していないのかもわからない。

真っ暗な部屋の中で掃除を頼まれるようなもので、勘に頼るしかない。目視の治療には限界がある。自分では一生懸命やった治療でも、数年後に失敗がわかつたケースが何例もありました」

口の中は、小さく暗い洞窟のようなもの。の中にある歯の疾患はミクロの世

伊藤隼也 と本誌取材班

医療ジャーナリスト・写真家

いわば「見える歯医者」。歯科医療の世界に革命を起こす治療法として、注目を集めているのだ……。

このように今、歯科治療の世界は大きく変わろうとしている。単に「削つて詰める」「歯を抜く」だけの治療からはるかに進化し、さらに「予防」が重要視されるようになってきた。

その背景には、歯の健康が、心身の健康に密接に繋がっているという事実がある。私たちは歯の病気を軽視しがちだが、歯周病が心筋梗塞や脳梗塞を引き起こし、死に至るケースもある。これがわかつてきている。

そもそも私たちの口腔（口の中）は細菌だらけだ。



画像を使って患者に説明  
(写真右は寺内医師)

東京・新宿区の歯科医院で、今バカ売れしている「ハイブリッド歯科」。その開業秘話から企業理念を徹底取材! 井元謙二郎・著

978-4-09-379833-7 小学館

エンドントンティックス』（J.O.E.）に、心筋梗塞の患者は、健康な人に比べて歯周病の罹患率が8倍以上だという論文が発表されている。

また、妊娠の早産の可能

性は数倍になるという。

これは、細菌が血管に入

り込み特殊なたんぱく質が

放出されることで、子宮筋

収縮が起り、早産が起き

ると考えられています」（角

医長）

さらに性別問わず糖尿病

の発症率が高くなるという

研究結果もある。

「たとえば感染性心内膜炎

の一部は、歯磨きの際の出

血などにより、口腔細菌が

血管に入ることで起こります

が、心臓に症状が出るま

でにはかなりのタイムラグ

があります。本人も担当医

も口腔が関連していると気

づかないとが多いのです

す」（角医長）

歯周病や虫歯の進行で歯

を失うとのデメリットも

わざるを得ない。治療をし

た数年後に同じ場所が再発

するケースは後を絶たない

が、その大きな原因が、「見

えていない」治療の問題だ。

そんな危機的状況を改善

するに大きな期待が寄せら

れるのが、前述の歯科用顎

鏡（マイクロスコープ）だ。

文字通りくっきりと口の中

を見るための顎鏡で、約

20倍まで対象を拡大できる。

寺内医師は96年に歯科用

顎鏡を導入したが、治療

の質が飛躍的に向上したと

断言する。

例えば、虫歯の再発の原

因には、虫歯の削り残しに

在する。さらに咀嚼能力の

低下が、「豊かな老後」を

奪うこともある。

「施設に入所している高齢

者を対象に、楽しみは何で

すか」と聞いた調査で、テ

レビや家族訪問を差し置い

て、食べること」がトップ

でした。人間に最後に残る

欲は食べること」。それを歯

を残すことは健康で豊か

な老後を送るために不可

欠だ。歯は「心身合わせた

全身の健康の入り口」。予

防や治療を適切に行なうこ

とは、「疾病」のリスクを

減らすこと」に繋がるのだ。

## アメリカでの成功率は98%

にもかかわらず、日本の歯科治療の現実は貧弱といわざるを得ない。治療をした歯を誤って傷つけると、6～7割の高い確率で新たな虫歯になってしまい、うデータもある。

いずれのケースも歯科医が「見えていない」ために、起つるトラブルだが、顎鏡を使うことによって、これらは飛躍的に改善した。寺内医師の医院では根管治療に7年間の保証をつけているが、再発のケースはほとんど見られないという。そもそも歯科用顎鏡は、どのように使われているのか。00年に顎鏡を導入し

つかることもよくあります」（寺内医師）

誤った根管治療が無くならないからこそ、虫歯が根治しないケースが多発するわけだ。

歴史をひもとくと、最初に顎鏡を臨床に持ち込んだのは耳鼻咽喉科で、20世紀の前半～中頃に使われ始めた。歯科用顎鏡は、1953年にドイツで開発され、臨床で多く利用されるようになったのは90年代。

まだ歴史の浅い歯科用顎鏡だが、欧米ではすでに普及している。米国では、歯内療法（根管治療を含め歯の内部の治療）には顎鏡に約6万8000件ある日

## アメリカでの成功率は98%

つかることもよくあります」（三橋医師）

また、治療中にファイル（器具）が折れて根管部分

を使用することがもはや常識だという。歯科大学の教育にも、その影響が及んでいます。歯科用顎鏡メークー最大手のカール・ツァイス・メディテックの阿部貞一氏によると、98年には、アメリカの歯科大学では、歯内療法大学院の授業において顎鏡を使った実習等が義務づけられたという。

しかし、歯科医院が全国

ある……。（以下次号）

本での顎鏡販売実績は、まだ2000台に満たない。

その結果、根管治療における成功 rateは、アメリカでは98%という調査結果が前出の「J.O.E.」誌に発表されて

いるのに對し、日本は約50%といわれているが、そもそもそのような調査も行なわれていないのが実態だという。

「歯科治療の大革命」（三橋医師）といわれる歯科用顎鏡には徐々に注目が集まり、より質の高い治療を追求する歯科医たちが導入、

04年には「日本顎鏡歯科学会」も発足した。にもかかわらず、欧米に比べて日本で普及しないのはなぜか。

そこには、わが国の歯科医療界が抱える深い問題があ

る……。（以下次号）

122

た、東京都世田谷区のデンタルみつけの治療現場を取材した。

院長・三橋純医師が、仰向けになった患者の頭の上に設置された顎鏡を覗きながら治療を施す。対面のテレビモニターには画面いっぱいに拡大された歯、つまり三橋医師が見ている映像がリアルタイムで映し出され、歯の隅から隅までは抜歯することになる。

しかし、根管はあまりに微細かつ複雑なため内眼ではほとんど見えず、根管治療は専門とする根管治療のケースだ。根管とは歯の根にある管状の部分で、長さ10～20cm、先端部分は直径1mm弱と非常に細く、湾曲していることもある。根管の中には、歯髓と呼ばれる神

経や血管が通っている。被せ物などの土台になる根管の治療は歯を残すために大切な処置だが、正確に行なわれないと、細菌が残つてやがて再発し、最悪の場合は抜歯することになる。

しかし、根管はあまりに微細かつ複雑なため内眼ではほとんど見えず、根管治療は専門とする根管治療のケースだ。根管とは歯の根にある管状の部分で、長さ10～20cm、先端部分は直径1mm弱と非常に細く、湾曲していることがある。根管の中には、歯髓と呼ばれる神

経や血管が通っている。被せ物などの土台になる根管の治療は歯を残すために大切な処置だが、正確に行なわれないと、細菌が残つてやがて再発し、最悪の場合は抜歯することになる。

しかし、根管はあまりに微細かつ複雑なため内眼ではほとんど見えず、根管治療は専門とする根管治療のケースだ。根管とは歯の根にある管状の部分で、長さ10～20cm、先端部分は直径1mm弱と非常に細く、湾曲していることがある。根管の中には、歯髓と呼ばれる神